Fujisawa サスティナブル・スマートタウン

環境省

HEMSなどによるエネルギーマネジメントに取り組みつつ、 将来的には街全体を対象とした地域エネルギーマネジメントを目指す

事例概要

事業者

Fujisawa SST 協議会 (代表幹事:パナソニック グループ)

地域課題

都市のスマート化、エネルギーの自産自消、レジリエンス強化

事業概要

- Fujisawa サスティナブル・スマートタウン(Fujisawa SST)は、パートナー企業と神奈川県藤沢市の官民一体型プロジェクトとして、パナソニックの工場跡地を活用して開発された複合型スマートタウン
- 「生きるエネルギーがうまれる街。」をコンセプトに、全ての 住宅に太陽光・蓄電池を設置し、HEMSやBEMSによるエ ネルギーマネジメントを実施
- 住宅の太陽光発電の余剰分は蓄電池に一定量貯めた 上で全量売電し、取組への住人の理解を促進
- 非常時には地域電源として設置された「コミュニティソーラー」を携帯電話やEV等を充電できるよう解放

実施状況 (2022年12月現在)

事業化済み(2014年3月入居開始)

補助事業の 利用

- スマートコミュニティ構想普及支援事業(経済産業省)
- 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(環境省)
- 住宅·建築物省CO2先導事業(国土交通省)

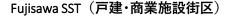
CO2 削減効果

非公表 (住人に対しては開示)

事業スキーム・体制









コミュニティソーラー

出所:Fujisawa SST協議会提供